

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場会社名 株式会社 クレディセゾン 上場取引所 東
 コード番号 8253 URL <http://www.saisoncard.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大阿久 学 TEL 03-3982-0700
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	122,441	△4.0	22,433	2.7	27,948	11.9	17,698	1.1
24年3月期第2四半期	127,555	△12.2	21,833	59.6	24,970	41.7	17,513	75.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 17,808百万円 (4.8%) 24年3月期第2四半期 16,993百万円 (154.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	96.38	95.93
24年3月期第2四半期	95.37	95.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,141,756	369,110	17.1
24年3月期	2,155,906	355,727	16.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 365,815百万円 24年3月期 352,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	246,000	0.8	42,000	31.8	51,000	32.2	30,500	222.6	166.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（平成24年11月8日）公表の「平成25年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想と実績との差異及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	185,444,772株	24年3月期	185,444,772株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,811,944株	24年3月期	1,811,527株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	183,633,061株	24年3月期2Q	183,634,406株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社では、ホームページにて、事業・業績に関する補足説明資料及び四半期決算短信の英訳（要約版）を提供しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景に、緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の債務危機による海外経済の減速懸念や株式市場の低迷など、先行き不透明な環境下で推移いたしました。

また、当社が属するノンバンク業界においては、クレジットカードの利用領域拡大に伴いカードショッピングは拡大基調にあるものの、貸金業法の改定によってカードキャッシング市場規模は縮小しており、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況において、当社はクレジットカードを中心としたキャッシュレス決済の拡充、ネットを活用したフィージネスの強化、リース事業やファイナンス事業などノンバンク化の推進、債権管理の強化と事業の筋肉質化など、新成長戦略の基盤づくりに努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

	(百万円)				(円)
	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
当第2四半期連結累計期間	122,441	22,433	27,948	17,698	96.38
前第2四半期連結累計期間	127,555	21,833	24,970	17,513	95.37
伸び率	△4.0%	2.7%	11.9%	1.1%	1.1%

営業収益は、主力の「クレジットサービス事業」では、顧客基盤拡大の取り組みとして、高稼動・高単価の見込まれる「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」の会員募集を継続して強化するとともに、各提携先企業及びその店舗・テナントとの関係強化により、両者一体となった提携カードの会員募集に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の新規カード会員数は122万人、当第2四半期連結会計期間末のカード会員数は2,473万人（前期末比0.1%減）となりました。

また、カード取扱高拡大の取り組みとして、ビジネスシーンや旅行・サービス業など多様な企業と、カード利用特典の付与を通じて顧客を相互に送客し合うビジネスモデルの構築を推進したほか、ヤフー㈱と共同でインターネットの閲覧で得た情報からリアル店舗へと送客する「020（オンライン・トゥ・オフライン）」プロモーションの実証実験を開始したことなどにより、ショッピング取扱高は1兆7,267億円（前年同期比3.8%増）と順調に推移いたしました。

さらに、ネットを活用した収益力の強化として、ネット会員を773万人（前期末比11.0%増）に増強するとともに、インターネットショッピング等で「永久不滅ポイント」が貯まるポイントサイト「永久不滅.com」の認知度向上・利用者拡大に向けテレビCMなどマスメディアでの広告宣伝を展開するなど、フィージネスの拡充に注力いたしました。

しかしながら、貸金業法改定の影響等によりカードキャッシング残高が2,901億円（前期末比9.9%減）と減少したことに伴い、カードキャッシング収益が減少した結果、同事業全体では減収となりました。

「リース事業」では、リース既存取引先との信頼関係強化及び新規提携販売店の拡大により、リース取扱高が535億円（前年同期比15.2%増）と拡大いたしました。

「ファイナンス事業」では、信用保証事業において提携金融機関との営業・管理両面にわたる密接な連携により保証残高が1,864億円（前期末比10.6%増）と順調に推移したことなどにより、増収となりました。

「不動産関連事業」では、売上高が減少したことにより減収となりました。なお、不動産関連事業の再構築に伴い、継続事業と撤退事業に区分し、第1四半期連結会計期間より撤退事業に関連する損益を営業外損益として計上しております。

「エンタテインメント事業」では、東日本大震災の影響（一部店舗の休業・営業時間短縮など）を受けた前期と比較して売上高が増加した結果、増収となりました。

以上の結果、営業収益は1,224億41百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

営業費用においては、債権管理の強化により債権の健全化が進展したこと及び弁護士・認定司法書士等による第三者介入債権が沈静化しつつあることにより貸倒関連費用が123億61百万円（前年同期比21.9%減）と減少した結果、営業費用は1,000億7百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

以上の結果、営業利益は224億33百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

経常利益は、カード合弁会社の業績が順調に推移した結果、持分法投資利益が28億11百万円（前年同期比77.2%増）と貢献したことなどにより、279億48百万円（前年同期比11.9%増）となりました。また、第1四半期連結会計期間より、オンラインチケットサービス「e+（イープラス）」を運営する㈱エンタテインメントプラスを持分法適用の関連会社を含めております。

以上の結果、四半期純利益は176億98百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

1株当たり四半期純利益は96円38銭となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、割賦売掛金等の減少により、前連結会計年度末と比較して141億49百万円減少し、2兆1,417億56百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、支払手形及び買掛金が210億57百万円減少したことにより、前連結会計年度末と比較して275億32百万円減少し、1兆7,726億46百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して133億82百万円増加し、3,691億10百万円となりました。この増加分のうち、利益剰余金が132億75百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間までの当社グループの業績や経営環境を踏まえ、平成24年5月16日に公表いたしました通期の業績予想を以下のとおり変更いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（平成24年11月8日）公表の「平成25年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想と実績との差異及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<平成25年3月期 連結業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	250,000	43,000	50,000	29,000	157.92
今回修正予想 (B)	246,000	42,000	51,000	30,500	166.09
増減額 (B - A)	△4,000	△1,000	1,000	1,500	
増減率 (%)	△1.6	△2.3	2.0	5.2	

(参考)

<平成25年3月期 個別業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	206,000	38,500	41,500	23,000	125.20
今回修正予想 (B)	206,000	38,500	41,500	23,500	127.92
増減額 (B - A)	0	0	0	500	
増減率 (%)	0	0	0	2.2	

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

不動産関連事業の再構築に伴い、継続事業と撤退事業に区分し、第1四半期連結会計期間より撤退事業に関連する資産を投資その他の資産の「整理事業関連資産」に、撤退事業に関連する損益を営業外収益の「整理事業関連利益」に、それぞれ区分掲記しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,085	44,152
割賦売掛金	1,379,146	1,282,333
リース投資資産	218,389	220,183
営業投資有価証券	16,616	13,958
販売用不動産	183,784	86,777
買取債権	10,315	9,722
その他のたな卸資産	1,251	1,331
その他	40,499	74,165
貸倒引当金	△95,172	△71,511
流動資産合計	1,814,916	1,661,113
固定資産		
有形固定資産	63,136	60,462
無形固定資産	98,938	104,937
投資その他の資産		
整理事業関連資産	—	150,638
その他	180,821	182,409
貸倒引当金	△2,257	△18,337
投資その他の資産合計	178,563	314,710
固定資産合計	340,638	480,110
繰延資産	350	531
資産合計	2,155,906	2,141,756
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,949	219,892
短期借入金	234,190	225,560
1年内返済予定の長期借入金	192,124	172,871
1年内償還予定の社債	10,225	30,225
コマーシャル・ペーパー	32,000	40,000
1年内返済予定の債権流動化借入金	41,079	42,393
リース債務	1,973	1,961
未払法人税等	9,465	5,515
賞与引当金	1,984	1,929
役員賞与引当金	153	58
利息返還損失引当金	13,246	12,051
商品券回収損失引当金	182	174
割賦利益繰延	5,840	6,102
その他	41,298	36,943
流動負債合計	824,713	795,677

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
社債	210,662	220,450
長期借入金	619,722	633,265
債権流動化借入金	44,872	24,714
リース債務	2,953	2,654
役員退職慰労引当金	92	64
債務保証損失引当金	4,067	4,227
瑕疵保証引当金	16	17
ポイント引当金	70,661	71,083
利息返還損失引当金	11,573	9,490
資産除去債務	830	843
負ののれん	329	164
その他	9,683	9,992
固定負債合計	975,465	976,968
負債合計	1,800,178	1,772,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,929	75,929
資本剰余金	84,838	84,838
利益剰余金	189,535	202,810
自己株式	△6,116	△6,117
株主資本合計	344,186	357,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,044	9,908
繰延ヘッジ損益	△1,535	△1,554
その他の包括利益累計額合計	8,508	8,354
新株予約権	0	0
少数株主持分	3,032	3,294
純資産合計	355,727	369,110
負債純資産合計	2,155,906	2,141,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業収益		
クレジットサービス事業収益	99,291	94,727
リース事業収益	7,351	7,213
ファイナンス事業収益	7,481	8,376
不動産関連事業利益		
不動産関連事業収益	23,030	17,979
不動産関連事業原価	16,268	12,966
不動産関連事業利益	6,762	5,013
エンタテインメント事業利益		
エンタテインメント事業収益	37,423	39,613
エンタテインメント事業原価	30,970	32,664
エンタテインメント事業利益	6,453	6,948
金融収益	215	161
営業収益合計	127,555	122,441
営業費用		
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	6,006	3,646
貸倒引当金繰入額	12,357	8,037
利息返還損失引当金繰入額	1,900	2,734
債務保証損失引当金繰入額	1,558	1,589
支払手数料	24,060	25,308
その他	49,690	50,935
販売費及び一般管理費合計	95,573	92,252
金融費用	10,148	7,754
営業費用合計	105,722	100,007
営業利益	21,833	22,433
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	583	573
負ののれん償却額	187	164
持分法による投資利益	1,586	2,811
償却債権取立益	598	805
整理事業関連利益	—	948
その他	260	264
営業外収益合計	3,233	5,584
営業外費用		
支払利息	26	19
投資事業組合等分配損	21	19
貯蔵品処分損	24	6
その他	24	22
営業外費用合計	96	69
経常利益	24,970	27,948

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	23	0
関係会社株式売却益	7,140	—
特別利益合計	7,163	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	173
災害による損失	169	—
その他	47	53
特別損失合計	217	226
税金等調整前四半期純利益	31,916	27,722
法人税、住民税及び事業税	12,086	5,287
法人税等調整額	2,174	4,471
法人税等合計	14,261	9,758
少数株主損益調整前四半期純利益	17,654	17,963
少数株主利益	141	265
四半期純利益	17,513	17,698

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,654	17,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△839	△343
繰延ヘッジ損益	△37	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	215	207
その他の包括利益合計	△661	△154
四半期包括利益	16,993	17,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,852	17,543
少数株主に係る四半期包括利益	140	264

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クレジット サービス 事業	リース事業	ファイナ ンス事業	不動産関連 事業	エンタテイ ンメント 事業	計		
営業収益								
外部顧客への 営業収益	99,493	7,351	7,495	6,762	6,453	127,555	—	127,555
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	469	12	124	35	7	649	△649	—
計	99,962	7,363	7,620	6,797	6,460	128,204	△649	127,555
セグメント利益	14,214	1,894	3,536	1,091	1,172	21,909	△75	21,833

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クレジット サービス 事業	リース事業	ファイナ ンス事業	不動産関連 事業	エンタテイ ンメント 事業	計		
営業収益								
外部顧客への 営業収益	94,889	7,213	8,376	5,013	6,948	122,441	—	122,441
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	483	12	118	44	7	666	△666	—
計	95,373	7,225	8,494	5,057	6,956	123,107	△666	122,441
セグメント利益	12,695	3,458	4,522	513	1,290	22,481	△47	22,433

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。